

CTC を起動できない

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[CTCの起動問題のトラブルシューティング](#)

[方法 1：マシンからのCTCキャッシュの削除](#)

[方法 2：Internet Explorerの設定の変更](#)

[方法 3：Windows TCP機能の変更と自動TCPチューニングの無効化](#)

[方法 4：Javaバージョンの互換性の確認](#)

[方法 5：CTCキャッシュのインストール](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Transport Controller (CTC) の起動に関する問題を解決するためのトラブルシューティング手順について説明します。CTCはCisco Optical Transport Platformの重要な部分であり、運用、管理、メンテナンスの目的で使用されます。このドキュメントでは、Windows関連の問題についてのみ説明します。

CTCソフトウェアは、Optical Networking Services(ONS)ノードのコントローラに搭載されています。CTC上のノードに到達するには、ノードのIPアドレスがユーザのマシンから到達可能である必要があります、IPアドレスはインターネットブラウザから起動する必要があります。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Transport Controllerとその使用に関する基礎知識
- ユーザのマシン上のノードのIPアドレス
- Microsoft Windowsオペレーティングシステムに関する基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、ONSシリーズノード管理に使用されるCisco Transport

Controller(CTC)に基づくものです。

トラブルシューティングの手順は、WindowsマシンからCTCを起動する際に問題が発生しているユーザにのみ適用されます。

関連製品

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- ソフトウェアリリース9.0以降
- ハードウェアバージョンONS 15454 M12、M6、M2、およびONS 15600

CTCの起動問題のトラブルシューティング

CTCを起動できない場合は、次の方法でトラブルシューティングします。

方法 1 : マシンからのCTCキャッシュの削除

まず、PCからキャッシュファイルを常に削除する必要があります。

Windows-7で、次の場所に移動します。

```
C:\Users\test\AppData\Roaming
```

この例では、「test」が現在のユーザです。PCで、現在のユーザを選択します。

「CTC」という名前のフォルダを含む「Cisco」という名前のフォルダを開きます。このフォルダは削除する必要があります。

C:\drive-users-username内で、すべてのctc.logファイルとctc.iniファイルを削除します。

Windows-XPで、次の場所に移動します。

```
C:\Documents and Settings\admin\Application Data\Cisco\CTC
```

CTCフォルダを削除します。admin =現在のユーザ名を選択します。

方法 2 : Internet Explorerの設定の変更

1. Internet Explorer 7で、ゾーンの保護モードを無効にします。[Tools] > [Internet Options] の順に選択します。[Security] タブをクリックします。適切なゾーンを選択し、[Enable Protected Mode]チェックボックスをオフにします。保護モードのステータス(「保護モード : オン」または「保護モード : Off」)は、IEステータスバーの右下隅に表示されます。
2. セキュリティゾーンレベルを[中]に設定します。

方法 3 : Windows TCP機能の変更と自動TCPチューニングの無効化

1. この方法を使用するには、コマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

```
netsh interface tcp set global autotuninglevel=disabled
```

コマンドの出力はOKである必要が**あります**。これは、コマンドの正常な実行を表します。結果が「OK」にならない場合は、コマンド・プロンプトを管理者として実行します。

2. コマンドプロンプトをadministratorとして実行するには、[All Programs] > [Accessories] > [Command Prompt]に移動し、[Run as Administrator]を右クリックします。[Windows Vistaベースのコンピュータ上のHTTPトラフィックの受信ウィンドウ自動チューニング機能](#)
3. Windowsでは、上記のユーザー設定を自動的に上書きできるため、次の手順で適用することもできます。

```
netsh int tcp set heuristics disabled
```

自動チューニングを無効にするには、次の方法を使用します。[ホットフィックスは、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、またはWindows Server 2008 R2のTCPウィンドウの拡張を改善します](#)

方法 4 : Javaバージョンの互換性の確認

Javaバージョンの互換性を確認します。Javaバージョン6 (アップデート37) は、すべてのCTCバージョンで動作します。

[ここでJavaをダウンロードします。](#)

方法 5 : CTCキャッシュのインストール

CTCキャッシュは有用であり、通常はCTCの起動に関連する問題のほとんどを解決します。適切なキャッシュバージョン (ノードのバージョンによって異なる) をダウンロードします。マシンにキャッシュをインストールし、このキャッシュを使用してCTCを起動します。

[CTCキャッシュをここにダウンロードしてください。](#)

また、キャッシュは、このリンクを使用してノードからダウンロードできます。node-nameはノードのIPアドレスです。

<http://node-name/fs/StartCTC.exe>

注 : CTCキャッシュ9.604および9.80は、ソフトウェアリリースバージョン9.40以前をサポートしていません。Cisco Bug IDは[CSCui16205 \(登録ユーザ専用 \)](#)です。